

## ネパール人学校が募金を呼びかけ！

5月1日（金曜日）、JR阿佐ヶ谷駅南口広場で、国外では唯一のネパール人学校・エベレスト インターナショナル スクール（運営：NPO ネパール教育支援センター）の児童代表や学校関係者が、募金活動を行いました。この活動は、4月25日ネパールで発生した大地震による被災者支援を呼びかけるものです。

4月25日ネパールで発生したM7.8の大地震で、ネパールの人口の約3割となる800万人が被災しました。現地では、多くの死傷者が出ているほか、食糧や飲料水、テント、医療用品の不足が深刻な状況であることがニュースとして伝えられています。

本日（5月1日）午後4時、こうした大きな被害を受けたネパールを支援しようと、JR阿佐ヶ谷駅南口広場では、募金活動が行われました。この活動は、ネパール国外では唯一のネパール人学校のエベレスト インターナショナル スクール（阿佐谷南3-34-16）に通う小学3年生～5年生の児童17名と職員、そして応援に駆け付けた近隣住民など30名ほどで行われました。同校は、平成25年5月に開校し、3歳から小学5年生までの104名が通っています。この学校の開校以来、杉並区に住むネパール人は増えていて、平成27年3月末時点で、ネパールは974人で、中国（3,621人）と韓国・朝鮮（2,546人）に次ぐ3番目の数となっています。

ネパールと同様、世界有数の地震国である日本は、東日本大震災の際には世界中の国から温かな支援を受けました。杉並区は大きな被害はありませんでしたが、この日本に対する支援を忘れてはいません。およそ1時間の募金活動では、多くの方が足を止め、募金に協力をするとともに、地震に亡くなられた方々へのお悔やみや励ましの声を掛けていました。昨日、4月30日には、高円寺駅と荻窪駅でも同様の活動を行い57万円あまりの募金を得ました。同校のプラディプ タパ校長（32歳）は、「日本の皆様の温かい気持ちに感謝です。」と話しました。募金は、ネパールの教育に役立てるために活用されます。



また、杉並区は、5月1日にネパールへの支援として、100万円の見舞金を決定し、連休明けにはネパール大使館に届けることにしました。さらに、区役所や7カ所の区民センターに募金箱を設置し、区職員や来庁者に対し、協力を求めていくことにしました。

### 【問い合わせ先】

エベレスト インターナショナル スクール：5335-7379